



市制100周年(昭和64年)

4月  
昭和63年4月1日  
第251号

編集と発行: 鹿児島市広報課 / 鹿児島市山下町11番1号〒892 市役所のでんわ:(24)1111

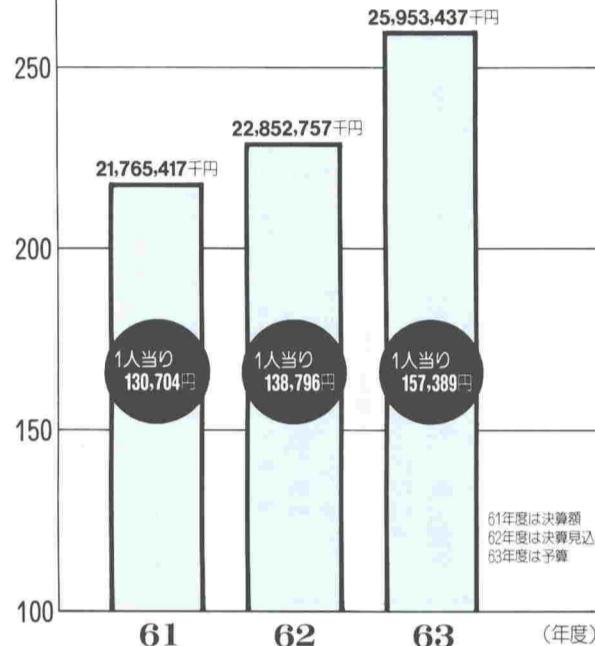
## 市の人口(推計)

(63.3.1)	(前年同月比)
人口総数 535,085人	(+3,093人)
男 253,266人	(+1,100人)
女 281,819人	(+1,993人)
世帯数 193,191世帯	(+2,168世帯)

かごしま  
市民のひろば

(億円)

国保が負担する医療費



国保制度は、万一病気になったときに備えて、みんなで国保税を出し合いで、互いに助け合うことを目的としてつくられた医療保険制度です。国保加入者は、職場などの健康保険に加入していない方々です。

国保加入者が、病院などで治療を受けたときは、治療を受けた人が三割、残りの七割を国保会計が負担します。この国保会計が負担する分については、国からの補助金と国保に加入している皆さんの国保税で賄うのが原則です。

そのため、医療費が増えると国保税も増えざるを得なくなります。国保医療費は全国的にも年々増加しており、本市も昭和六十三年度には、年間約二百六十億円の支出が予

受けたときには、治療を受けた人が三割、残りの七割を国保会計が負担します。この国保会計が負担する分については、国からの補助金と国保に加入している皆さんの国保税で賄うのが原則です。

そのため、医療費が増えると国保税も増えざるを得なくなります。国保医療費は全国的にも年々増加しており、本市も昭和六十三年度には、年間約二百六十億円の支出が予

受けたときには、治療を受けた人が三割、残りの七割を国保会計が負担します。この国保会計が負担する分については、国からの補助金と国保に加入している皆さんの国保税で賄うのが原則です。

そのため、医療費が増えると国保税も増えざるを得なくなります。国保医療費は全国的にも年々増加しており、本市も昭和六十三年度には、年間約二百六十億円の支出が予

受けたときには、治療を受けた人が三割、残りの七割を国保会計が負担します。この国保会計が負担する分については、国からの補助金と国保に加入している皆さんの国保税で賄うのが原則です。

そのため、医療費が増えると国保税も増えざるを得なくなります。国保医療費は全国的にも年々増加しており、本市も昭和六十三年度には、年間約二百六十億円の支出が予

受けたときには、治療を受けた人が三割、残りの七割を国保会計が負担します。この国保会計が負担する分については、国からの補助金と国保に加入している皆さんの国保税で賄うのが原則です。

そのため、医療費が増えると国保税も増えざるを得なくなります。国保医療費は全国的にも年々増加しており、本市も昭和六十三年度には、年間約二百六十億円の支出が予

## 国保の危機を乗り切ろう

想されます。(グラフ参照)

## 国保税の負担軽減に努力

力をしていますが、加入者の皆さんも自分の健康管理に努めていただきたいと思います。

そして、市・加入者・医療機関の三者が一体となって、現在の厳しい国保財政を乗り切ることが最も大切であり、また、このことが国保税の負担を少なくすることにつながることになります。

## 国保財政健全化のために

国保財政健全化のために、国から補助金の増額などについて、市も最大の努力をしますので、加入者の

国保制度は、加入者の協力と相互扶助によって運営される医療保険制度であることを十分ご理解いただき、自分の健康保持に努め、また国保税の納入にもご協力くださるようお願いします。

国保制度は、加入者の協力と相互扶助によって運営される医療保険制度であることを十分ご理解いただき、自分の健康保持に努め、また国保税の納入にもご協力くださるようお願いします。

皆さんも国保の財源となる国保税の納入には、ぜひご協力ください。

また、国においては、医療保険制度のあり方などについて、制度の見直しを予定していますが、このことについては全国市長会などを通じて国保事業の健全な運営がなされるよう國へ強く要請してまいります。

## ふれあい街角



## 感謝の心

赤崎義則

新学期が始まりました。卒業生を送り出し寂しかった学校も初々しい新入生を迎え、また在校生もそれぞれ進級して校内に活気が満ちあふれています。四季の移り変わりのなかで、学校の様子も変わっていますが、子供たちの四季を温かく見守り続けている人たちもたくさんおられます。

最近、ある老人クラブに寄せられた小学生からの手紙を読ませていただき、ほのぼのとしたものを感じました。

内容は、学校にぞうきんをプレゼントしてくださった、ある団地の老人クラブの方々へ子供たちが感謝の気持ちをつづったものです。

『ぞうきんをもらつて、おそらくがんばり周間ができたこと』

『心をこめて一針一針縫つてくださったこと』

『いつもきれいにして大事に使つていて』

等々老人クラブの方々への子供たちの一途な気持ちがちりばめられている手紙です。

子供たちに対する老人クラブの方々の深い愛情ややりを強く感じると同時に、お年寄りの方々の善意に対する感謝の気持ちを精一杯表している子供たちの素直な心に、非常にうたれるものがありました。

感謝の気持ちを持つことは、私共の人生で最も大切なことだと思いますが、ややもすれば失われがちな昨今、子供たちにその心が育つていいことはすばらしいことだと思います。

これからも、人の親切を素直に受け止め、感謝の気持ちを大事にしてほしいものです。

(大切なものは保存しておきましょう)









